

令和 7 年度 第 1 回 静岡県立静岡城北高等学校 運営協議会

日時 令和 7 年 6 月 7 日（土）

出席者 学校運営協議会委員

大高千尋 委員（同窓会関係者）

河原正哉 委員（企業関係者）

小池理恵 委員（学識経験者）

杉山 誠 委員（地域関係者）

江原美紀 委員（後援会長）

小澤紀子 委員（PTA 会長）

静岡城北高等学校

校長 渡辺賢一

教頭 山田光俊

《次第》

1 開会

2 校長挨拶

渡辺校長からの挨拶が行われた。

3 学校の概況

山田教頭から、4、5 月部活動結果、トピックの説明があった。

4 城北祭（学校祭）見学

5 会長・副会長の選出

会長に江原委員、副委員長に大高委員が選出された。

6 本年度学校経営計画書（渡辺校長）

学校経営計画書の改定が説明された。

(1)「グローバル力」の設定

「5 つの力」として、従来の「英語力」を「グローバル力」に変更。「グローバル力」をグローバル社会への貢献力としての位置づけ、英語能力は必要な要素として残しつつ、グローバルな視点・能力の育成を重視。

(2) カリキュラムとスクールポリシーの整理

・本校では、スクールミッション・スクールポリシーに基づき、カリキュラムポリシーとグラデュエーションポリシーの体系を再整理した。教育活動では、生徒に「役割を持たせる」「主体的に行動させる」場面を意図的に設定し、その活動例や指導方法を具体化した。また、「5つの力」に対応した成果目標は、実施状況や実態に即した達成可能性を踏まえた現実的な数値とし、教員・生徒双方において実行しやすいものにした。

(3) 「5つの力」の具体的な取組

① 「つながる力」

・自己肯定感・自己効力感の育成を目的に、生徒に役割を与える取組を導入し、挨拶や協働作業の機会を増やすことで、対人関係形成能力を育て、成果目標の達成を図る。

② 「みつける力」

・大学出張講座、進路ガイダンス、放課後補習など、既存の進路支援活動を目標の達成方法として記載するとともに、進路に対する意識や将来像の形成を可視化・評価できるよう工夫を行う。

③ 「行動する力」

・学習時間やボランティア活動の参加状況などを具体化し、部活動や校外活動を含め、主体的な行動を評価できる体制に整備する。

④ 「考える力」

・課題解決型学習や読書活動の充実を通じ、思考力や判断力の育成を目指す。特に読書指導では、冊数に基づいて評価しつつ、考える力の育成を図る。

⑤ 「グローバル力」

・海外研修、オンライン交流、異文化理解授業などを柱に、異文化への理解とグローバルな視野を持つ力を育成する。交流体験を達成方法として整理し、継続的な取組を構築する。

7 意見交換

- ・読書活動やボランティア活動について、より広い視点や現実的な取組の改善策が議論された。
- ・学校内外での交通事故発生事例（特に自転車事故）に関連し、交通ルールの徹底と生徒への安全教育の強化が求められ、地域住民との調和にも注意が払われた。
- ・生徒が自ら考え、意見を述べる機会を提供するために、教職員が生徒の行動を承認し、励ます体制の確立が確認された。各種学校行事、委員会活動、文化祭、部活動などにおいて、生徒の自発性が育まれている現状が共有された。
- ・保護者や地域社会、卒業生などとの連携を通じ、生徒のキャリアや進路選択に対する支援が議論された。
- ・校内の情報共有や、生徒・保護者へのフィードバックを通じた、学内コミュニケーションの重要性が確認された。

8 閉会